



「ふるさとの田んぼと水」
 こども絵画展2016 入選作品
 「ぶどうの木」
 福井市立六条小学校 1年
 寺井明希 さん

要請活動報告	・・・ 1	春の叙勲	・・・ 4
「農業農村整備の集い」～農を守り、地域を創る 予算の確保に向けて～ に参加	・・・ 2	【連載】土地改良区の運営基盤強化 2	・・・ 5
平成28年度 北陸地区農地集団化促進協議会 通常総会及び研究会 に出席	・・・ 2	【不定期連載】土地改良区だより 6月号 (坂井北部土地改良区)	・・・ 6
福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会 を開催	・・・ 3	「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2017 作品募集	・・・ 6
福井県小水力発電推進協議会 通常総会 を開催	・・・ 3	行事予定	・・・ 7
第9回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会及び講習会 を開催	・・・ 4	農業基盤整備資金利率のお知らせ	・・・ 7



要請活動報告

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請



二階幹事長への要請風景

去る6月5日(月)並びに6日(火)、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は各連合会から役職員が出席し、農業農村整備事業の推進に関する要請活動を行いました。福井県土地改良事業団体連合会からも、山崎正昭会長自らが先頭に立ち、平成30年度予算の確保について訴えました。

●6月5日(月)

自由民主党二階俊博幹事長への要請では、林幹雄・望月義夫幹事長代理も同席の上、土地改良事業や土地改良区の抱える課題等について直接意見を交わす場も設けていただき、下村博文幹事長代行、細田博之総務会長、茂木敏充政務調査会長へ要請書を持参しました。

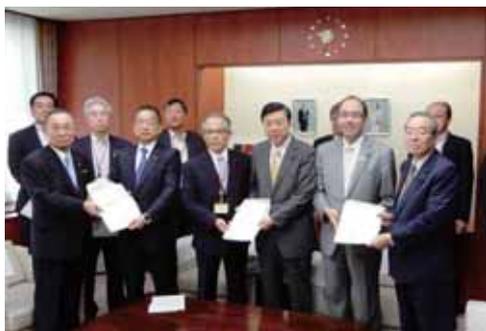


財務省での要請風景

その後、財務省では主計局角田隆総務課長と岩元達弘主計官に土地改良事業の重要性や効果について説明するとともに予算確保をお願いしました。更に、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員へ一層の御支援をお願いしました。

●6月6日(火)

農林水産省では、山本有二農林水産大臣を筆頭に、磯崎陽輔副大臣、細田健一大臣政務官にも出席頂き、北陸における現状等について説明し、土地改良事業の意義について意見交換ができました。加えて、佐藤速水農村振興局長、室本隆司農村振興局次長へも要請し説明をしています。その後、農林水産省、農村振興局幹部に対して要請書を持参しました。



農林水産省での要請風景

県内各農業農村整備事業推進協議会 合同要請



要請書の説明に聞き入る山崎議員

去る6月26日(月)、福井県内の5管内ごとに組織されている農業農村整備事業推進協議会から土地改良区の理事長らが出席し、山崎正昭参議院議員を始め県選出国會議員、並びに進藤金日子参議院議員に対して予算確保に向けた要請活動を行いました。

各議員からは、しっかりと取り組んでゆく旨の力強い回答をいただきました。

「農業農村整備の集い」 ～ 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～ に参加



会場風景

去る6月26日(月)午後1時半から、東京都「シェーンバツハ・サボー」を会場に、全国から約1,100名の土地改良区等関係者が集まり「農業農村整備の集い」が開催されました。福井県からは20名が参加しています。会場には、山本有二農林水産大臣をはじめ、多数の国会議員、農村振興局幹部も参集し、盛大に開催されました。本県選出の山崎正昭参議院議員、高木毅衆議院議員、助田重義衆議院議員も参加いただいております。

全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長は主催者挨拶として「本年度は、改正土地改良法を基軸に新たな展開を図り平成30年度に向けて十分な予算獲得を目指す。「骨太の方針」に「土地改良事業の強化」が盛り込まれ、平成30年度予算に向けて「大きな闘いの一步」を踏み出した。「闘う土地改良」は今年も続く。」と関係者のより一層の団結を力強く呼びかけられました。

来賓挨拶に続き事例発表として、富良野土地改良区(北海道)からは大区画化による農作業効率や、地下かんがいシステムによる作物の収益・品質の向上等による、6次産業化への挑戦と地域農業の活性化についての発表がありました。また、新丹谷土地改良区(静岡県)からは、以前より斜面での園芸農業が盛んであったものの、農地の平坦化、大区画化、集団化が図られたことで、農作業労力の節減がされ、若手後継者が育ち今後の新たな取組へ気運が高まっているとの発表がありました。

続いて、要請書案文が満場一致で採択され、一同が予算確保への積極的な活動を約束し、ガンパロウ三唱で幕を閉じました。集いの終了後には、採択された要請書を携え、農林水産省、財務省、復興庁、各県選出国會議員等に対して、各県からの参加者が要請活動を行いました。

平成28年度 北陸地区農地集団化促進協議会通常総会 及び研究会 に出席



表彰者4名を囲んで

去る6月15日(木)午後2時から、富山県富山市の「いこいの村磯波風」において、北陸四県から22名(県・土地改良区等)の出席のもと、平成28年度北陸地区農地集団化促進協議会通常総会及び研究会が開催されました。

富山県土地改良事業団体連合会の永森雅之専務理事の開会挨拶の後、「平成28年度 表彰式」が執り行われ、北陸地区農地集団化促進協議会永年勤続者として4名が表彰され、本県からは福井県土地改良事業団体連合会の清水章文専門員がその功績を称えられました。

その後、左記議案について審議が行われ、全議案満場一致で承認されました。

総会の閉会后、「平成28年度北陸地区農地集団化促進協議会研究会」が開催され、講義、事例発表及び意見交換が行われ、翌16日(金)には現地研修が行われました。

【議案】

- 第1号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算について
- 第2号議案 平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- 第3号議案 平成29年度会費負担基準(案)について
- 第4号議案 平成29年度役員を選任について

福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会 を開催



総会会場風景

【役員】

会長	福井県農村振興課	課長	木戸敏浩
副会長	福井市農林水産部	部長	前田和宏
副会長	福井県土地改良事業団体連合会	事務局長	野坂雄二
監事	敦賀市建設部	部長	清水久伸
監事	福井県農業協同組合中央会	参事	田黒吉之

去る4月28日(金)、福井県自治会館にて、会員26名の出席のもと、福井県多面的機能発揮推進協議会の通常総会を開催しました。

本協議会は、農業の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源および農村環境の保全活動並びに農業用排水路等の施設の長寿命化のための活動の推進等に資することを目的として、平成27年度に設立されました。

総会では以下の議案について審議され、全議案原案のとおり可決承認されました。

【議題】

- 第1号議案 平成28年度収支補正予算の専決処分に係る報告承認について
- 第2号議案 平成28年度事業実績及び収支決算の承認について
- 第3号議案 平成29年度事業計画及び収支予算(案)の承認について
- 第4号議案 福井県多面的機能発揮推進協議会 役員の変更について

福井県小水力発電推進協議会 通常総会 を開催



総会会場風景

【役員】

会長	福井県土地改良事業団体連合会	事務局長	野坂雄二
副会長	福井県農村振興課	課長	木戸敏浩
監事	あわら市農林水産課	課長	波多野和博
監事	おおい町地籍整備課	課長	国久康宏

去る6月19日(月)午後3時から、福井県自治会館202・203研修室において、市町、県、福井県土地改良事業団体連合会の19団体の出席のもと、福井県小水力発電推進協議会通常総会を開催しました。

本協議会は、農業水利施設を活用した小水力発電の事業促進を行うことで、土地改良施設の維持管理費の節減、農業農村地域の活性化、再生可能エネルギーの導入による地球温暖化対策への寄与等を目的とし、設立しました。

本総会では以下の議案について審議され、全議案原案のとおり可決承認されました。

【議題】

- 第1号議案 福井県小水力発電推進協議会 平成28年度事業報告及び収支決算の承認について
- 第2号議案 福井県小水力発電推進協議会 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について
- 第3号議案 福井県小水力発電推進協議会役員の変更について

第9回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会及び講習会 を開催



総会会場風景

去る6月19日(月)午後1時半から、福井県自治会館202・203研修室において、会員17団体の出席のもと、第9回福井県農村整備事業推進協議会通常総会及び講習会を開催しました。本協議会は、農村整備事業の効率的かつ円滑な実施を進めると共に、施設の適切な維持保全を図ることを目的とし、県内すべての市町と福井県土地改良事業団体連合会を会員、また、福井県に顧問として参画いただき事業を行っています。

総会では以下の議案について審議され、全議案原案のとおり可決承認されました。また、総会終了後、福井県農林水産部農村振興課計画・調査グループの宮下徹グループリーダーによる、「農業農村整備事業の今後の動向について」の講習を行いました。

【役員】

会長 福井県土地改良事業団体連合会
会長 山崎正昭
副会長 福井市長 東村新一
副会長 鯖江市長 牧野百男
幹事(集排担当) 大野市長 岡田高大
幹事(農道担当) 敦賀市長 洲上隆信
幹事(総合整備担当) 池田町長 杉本博文
幹事 福井県土地改良事業団体連合会
事務局長 野坂雄二
監事 あわら市長 橋本達也
監事 おおい町長 中塚 寛

【議題】

第1号議案 平成28年度福井県農村整備事業推進協議会事業報告について
第2号議案 平成28年度福井県農村整備事業推進協議会収支決算について
第3号議案 平成29年度福井県農村整備事業推進協議会事業計画(案)について
第4号議案 平成29年度福井県農村整備事業推進協議会収支予算(案)について
第5号議案 平成29年度会費の分担(案)及び納入時期について
第6号議案 役員の変更について

春の叙勲

平成29年4月29日(土)付けで春の叙勲受章者が発表され、本県関係では、各分野で顕著な功績のあった人に贈られる旭日章に9人、公共的な業務に長年従事して功績のあった人に贈られる瑞宝章に29人が受章しています。

今回、新郷下番土地改良区理事長である高橋正徳氏が、土地改良事業に貢献された功績を称えられ、旭日単光章を受章されました。この栄えある授章を祝し、謹んでお慶びを申し上げますとともに、今後ますますご健康でご活躍されることをご祈念申し上げます。



旭日単光章
(土地改良事業功勞)
高橋 正徳 様

昭和53年2月から芦原新郷土地改良区監事に就任し、39年間の永きにわたり、監事・理事・理事長を歴任され、運営にあたった功績は多大である。

平成18年度より新郷下番土地改良区の統合整備に尽力され、合併を成功させた。また、県営かんがい排水事業の地元調整にも努められ地域の農業振興への貢献も大きい。

土地改良区の運営基盤強化 ～ 施設・財務管理強化対策 ～

【 第2回 複式簿記の導入 】

前回は複式簿記の必要性についてお知らせしました。今回は、導入にあたって注意するポイントについてご説明します。

複式簿記の導入に必要な3要素

導入初年度の期首における各資産・負債の金額

土地改良区会計基準、同別紙2に基づき、土地改良施設や土地改良施設使用収益権等の評価、及び退職金要支給額の計算等を行う。(特に固定資産の評価に手間がかかる)

複式簿記に対応したシステム

全土連がシステム会社と共同開発した「水土里ネット会計」や、その他の市販ソフトなど。(市販ソフトの場合、初期設定に手間がかかる可能性あり)

複式簿記の知識をもった経理人材

日商簿記3級の知識があれば対応可能。

新規採用する必要はなく、経理担当者に日商簿記3級の資格講座などを受講いただければ実務は可能。

複式簿記の導入にかかるポイント

従来は、予算統制に重きを置いた現金主義^①(単式簿記)による記帳が行われてきましたが、近年は資産・負債の総合的な把握と管理などを行うため、発生主義^②(複式簿記)による記帳が求められています。

複式簿記においては、導入時の固定資産評価、現金主義に加えて発生主義による記帳、その結果として資産・負債の総合的な記録が特に重要なポイントです。

施設が老朽化し、収入も先細りが見込まれる中で、効率的に施設の維持コストをまかなわなければならないため、減価償却の考え方が重要となります。

複式簿記制度と同時に、適切な内部統制(職務分掌、承認制度、帳簿照合検証など)を構築することで、不正を防止することも必要です。

単式簿記と複式簿記の違い ～現金主義と発生主義～

	単式簿記	複式簿記
記帳の基本概念	① 現金主義 現金の出入りがあったときのみ記帳	発生主義 現金の出入りだけでなく取引に基づいた記帳も行う
会計成果品	・事業報告書 ・収支計算書 ・財産目録	・事業報告書 ・収支計算書 ・財産目録 ・貸借対照表 ・正味財産増減計算書 ・財務諸表に対する注記

現金主義とは現金の流れを重要視する考え方で、発生主義とは取引の発生を重要視する考え方

複式簿記では、現金収支の原因としての資産・負債が記録として残る。この資産・負債を集約したものが「貸借対照表」

お問い合わせはこちらまで

財務管理相談窓口

福井県土地改良事業団体連合会 総務部 総務課
担当者:高橋 (電話:0776-23-7777)

土地改良区だより 2017年6月

土地改良区の活動等についてお知らせします。土地改良区の情報进行募集中です。

【坂井北部土地改良区】

恒例となっている、耕作放棄地解消を目的とした未就学児対象の農業体験が実施されました。

子どもたちと農業体験!

6月13日(火) 金津こども園 子ども22名

金津こども園の園児22名が、サツマイモ(とみつ金時)苗300本の植付けを体験しました。当日は、この活動に賛同するNPO法人「美しい田園21」や北陸農政局、福井県坂井農林総合事務所等からも約20名が集まり、植付の準備や子どもたちの指導等に協力されました。

植え方を教わりながら、大人と一緒に2本ずつの苗を植えた子どもたちは、自分の名前が書かれた立札をその間に立てました。今日植えたサツマイモは、秋に収穫する予定です。サツマイモを植え終わると落花生とトウモロコシの苗まで植えていただきました。中には、ご家族で成長具合を確認にくる方もいらっしゃるそうです。この活動は、子どもたちに農業に親しんでもらうだけでなく、農地として維持することで耕作放棄地の解消を目的としています。子どもたちがきっかけとなって、少しでも多くの人に興味をもってもらえるれば嬉しい事です。



植付準備に励む大人たち



植付け中



集合写真

お問い合わせ先

福井県土地改良事業団体連合会 総務部 企画開発課 (電話:0776-23-7777)

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2017 作品募集中

毎年開催しております子ども絵画展を、本年も、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の主催で開催することとなりました。

本年も、福井県土地改良事業団体連合会では、本絵画展の登録団体として県下の作品のとりまとめを行い、福井県内個別の賞も設けます。管内の催事等で写生大会等を開催されました際にご応募頂ければ幸いです。小学生以下の子供さん個人での応募も受け付けています。

詳細については、担当までお問合せ願います。

【担当】 福井県土地改良事業団体連合会 企画開発課 石田
電話:0776-23-7777



絵画展チラシ

行 事 予 定

7月 10日(月) 福井県受益農地管理強化委員会
福井県管理運営体制強化委員会 土地改良課
(会場:福井県土地改良会館 2階役員室)

7月 22日(金) 第210回理事会 総務課

平成30年
1月 22日(月) 平成29年度 災害復旧技術向上のための講習 企画開発課
(会場:福井県庁 正庁)

本誌の発行日によって記載している行事が終了している場合や、記載がない行事が実施される場合、また詳細が未定のものの変更される場合がありますのでご了承下さい。

農業基盤整備資金利率のお知らせ

平成29年6月19日付けの日本政策金融公庫 農林水産事業の農業基盤整備資金貸付利率についてお知らせします。
問い合わせ先:(株)日本政策金融公庫福井支店 TEL:0776-33-2385 HP: <http://www.jfc.go.jp/a/>

(単位: %)

区 分		融資期間にかかわらず	融資期間別 (一例) (%)			
			5年	10年	15年	20年
補助事業	県 営	0.45	—	—	—	—
	団体営	0.30	—	—	—	—
非 補 助		0.30	—	—	—	—
災 害 復 旧		—	0.16	0.16	0.24	0.30

水土里ネットふくい(福井県土地改良事業団体連合会)の連絡先

〒910-0014 福井県福井市幾久町 8 番17号 (FAX) 0776-24-1400 <http://www.midorinet-fukui.jp>

総務課、企画開発課	(TEL) 0776-23-7777	soumu@midorinet-fukui.jp
土地改良課	(TEL) 0776-23-7775	jigyo4f@midorinet-fukui.jp
(管理・情報担当、水土保全・基幹水利・多面的機能支払交付金担当、地籍・換地担当、水土総合強化センター)		
計画設計課	}	(TEL) 0776-23-7776
環境計画課		
(農村環境分析センター) (TEL) 0776-23-8560		

嶺南事務所 〒919-1556 福井県三方上中郡若狭町玉置11-58 (TEL/FAX) 0770-57-2727

